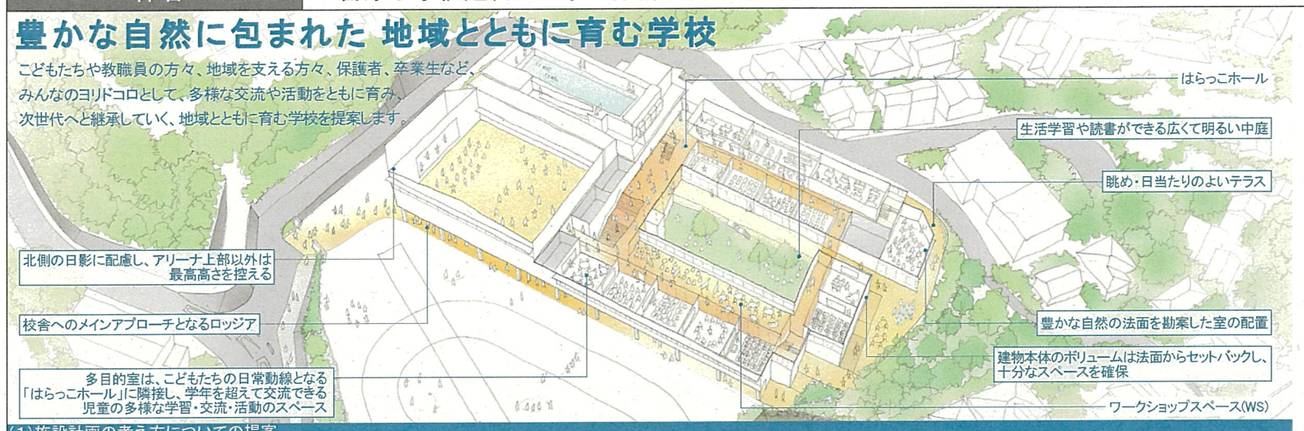
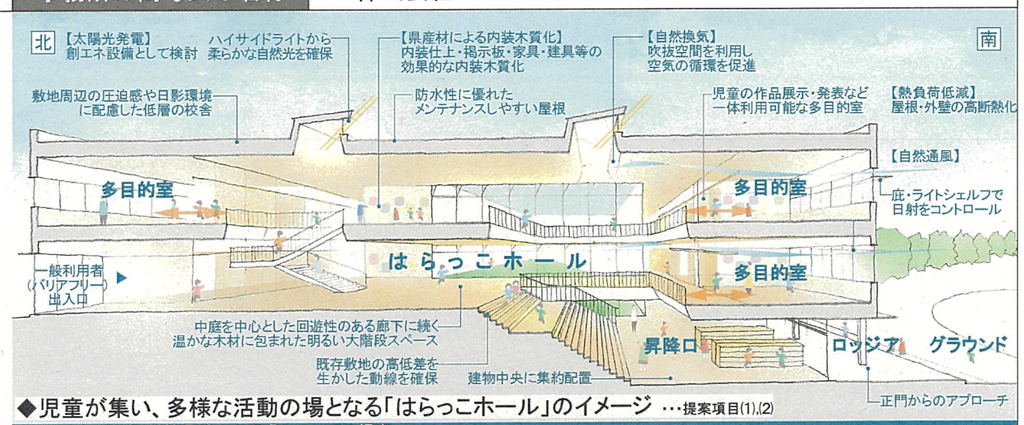
（要項様式3）　　提案書（提案項目）

件名	吉原小学校建替え工事に伴う設計業務委託	事務所の商号又は名称	株式会社　みかんぐみ

豊かな自然に包まれた 地域とともに育む学校

こどもたちや教職員の方々、地域を支える方々、保護者、卒業生など、
みんなのヨリドコロとして、多様な交流や活動をともに育み、
次世代へと継承していく、地域とともに育む学校を提案します。





◆児童が集い、多様な活動の場となる「はらっこホール」のイメージ …提案項目(1),(2)

(1) 施設計画の考え方についての提案

◆自然と調和し コンパクトで利用し易い 地域防災を育む学校づくり

近隣環境・学校運営や児童の動線の効率性・安全性・利便性に配慮した配置

「はらっこホール」を中心とした 回遊性のある 利用し易い施設構成

□「大きな中庭をもつ回廊型の校舎棟」・「体育館棟」による**計画建物を敷地北側に配置**し、**南側に整形で広いグラウンド**を設け、**コンパクトな配置**とします。
□正門から昇降口をつなぐ**児童・教職員等の来校者のアプローチ「ロッジア」**、北門付近の**車両の搬出入スペース「ピロティ」**を設け、**歩車分離**として区分し**誰もがわかりやすく、移動しやすい安全・安心な児童の動線を確保**します。
□**行き止まりのない回廊**で**移動距離を短縮**し、動線の高効率化を図ります。

日常時から災害時まで利用・管理しやすい明確なゾーニング計画

□**「教育活動エリア」と「避難所エリア」**を管理運営のため**明確に区分**し、**災害・避難時に安心して過ごせる場を確保**した利用し易い**地域防災拠点**とします。
□**地域開放諸室**(キッズクラブ・地域交流室・会議室)は**敷地西側の「地域利用エリア」に集約**し、**日常時から災害時まで管理運営しやすい配置**とします。

自然や地形を生かしながら、良好な学習環境を実現するための施設計画の考え方についての提案

既存地形を生かした回遊性のある地域に開かれた学校づくりを実現

□建物中央に**地形を生かした「はらっこホール」**を設け、昇降口・体育館・中庭・多目的室に隣接し、**日常的にこどもたちが集う多目的交流スペース**とします。
□**普通教室は回廊に面する南側、特別教室は北側に集約した構成**とします。

(2) 脱炭素社会に向けた環境負荷低減及び省エネルギー等の考え方ついての提案

◆県産木材に包まれた心地よい環境を育む持続可能な学校

(ア) 省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入の環境負荷低減策についての提案

自然エネルギー利用を軸に環境負荷軽減を図るエコスクール

□**外皮の高断熱化**、中庭・大階段・吹抜を介した自然通風・自然換気等の**自然エネルギー利用により、LCCO2を低減**し、**CASBEE-Aランク**を目指します。
□費用対効果検証の上、**高効率省エネ設備の導入によりLCCを縮減**します。

(イ) 施設の特性を考慮した、効果的な木材の活用方法などの提案

県内学校内装木質化の設計実績を生かした県産材による内装木質化

□**児童の目に触れる内装木質化**により**児童・地域とともに木育に貢献**します。
□主に**学校全体で利用する部位**(家具・建具・掲示板等)**の木質化**を図ります。

(3) (1)(2)を踏まえた、コスト縮減の考え方についての提案

◆コスト縮減を可能にするコンパクトかつ長寿命な学校づくり

(ア) 工事費のコスト縮減に向けた具体的方策

高低差を生かしたコンパクトな建物計画により土工事量・躯体費を削減

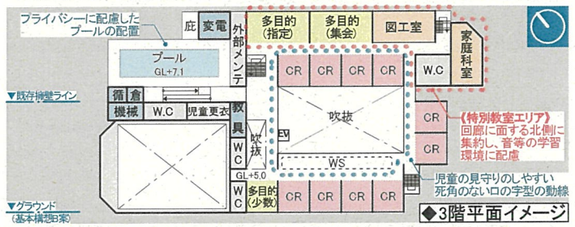
□**体育館の立体化により、本計画の建築面積を削減**し、低層の校舎を既存地形に沿って配置し、現地盤を生かし、**工期短縮や土工事量の削減**を図ります。
□体育館一校舎間はEXP.Jとし、各用途係数で設計し、**躯体費を削減**します。

(イ) その他ライフサイクルコストの縮減に向けた具体的方策

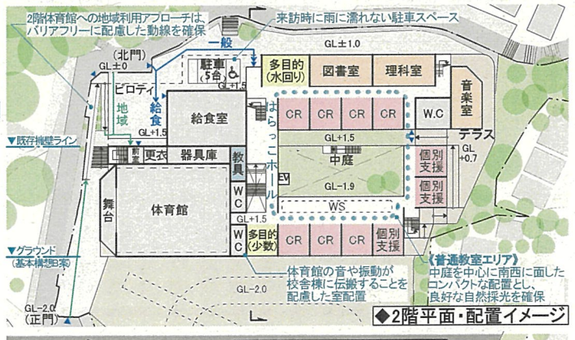
高品質な躯体と改修・更新のしやすい仕様により施設の長寿命化を実現

□**PCa化**による**躯体の長寿命化・工期短縮**でLCC、**LCCO2の削減**を図ります。
□**更新に配慮した設備スペースの確保**等により施設の長寿命化を図ります。
□設備更新のみならず、**改修・用途変更に容易に対応可能な仕様**とします。

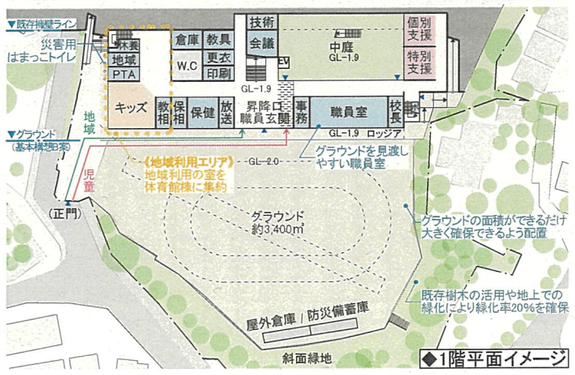
◆明確に区分されたゾーニングイメージ



◆3階平面イメージ



◆2階平面・配置イメージ



◆1階平面イメージ

(4) 工事中の安全・学校運営への配慮についての提案

◆安全性と学校運営に配慮した合理的な工事計画

(ア) 工事中の児童の安全配慮、工事車両との動線の分離

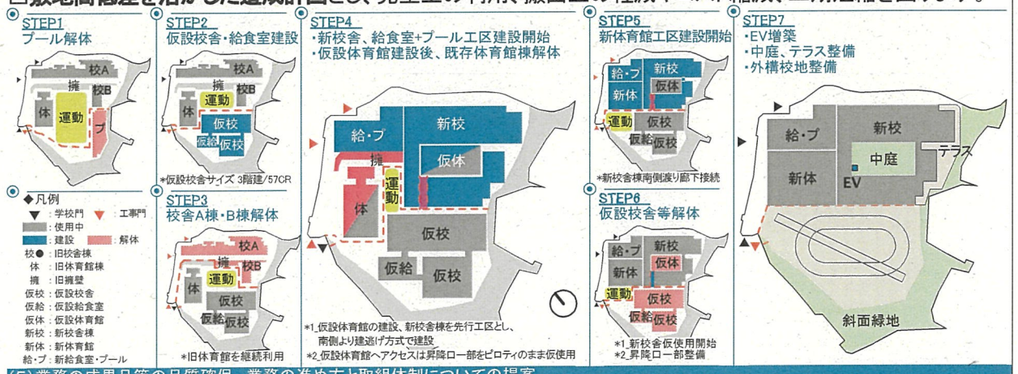
課題解決のためのより適切な工事計画

□基本構想案で工期中、学校の諸機能が敷地内で離散的に配置されることを見直します。**給食室と体育館棟の建替配置を変更**し、**工期中一貫して工区(敷地東側)と学校運営エリア(敷地西側)を明確に区分**、安全性を確保します。
□通勤通学時間の工事車両の搬出入を制限、誘導員を適宜増員することで、校地近辺での事故の発生を防ぎます。

(イ) 工期短縮、運動スペース及び給食室の継続利用など学校運営に配慮

工期を短縮し、学校機能をスムーズに移転・継続利用しやすくする建替計画

□児童/職員の移転に係る負荷軽減を勘案し、**学校機能をSTEP4までに一式移転、玉突故障が不要な計画**を検討します。
□**仮設の校舎/給食室/体育館等の既存の学校機能一式を早期に既存グラウンド周辺に集約して建設**し、まとまった運動スペースの確保や機能的な学校運営の継続を図ります。
□旧校舎の解体工事を一括で行い、工事ヤードの確保の後、**新校舎棟と新給食室・プール棟、仮設体育館の建設**と**旧体育館の解体工事を並行して進めることを検討します。**新設を一括で可能にすることで工期短縮を図ります。
□**敷地高低差を活かした造成計画**とし、発生土の利用、搬出土の軽減やコスト縮減、工期短縮を図ります。



(5) 業務の成果品等の品質確保、業務の進め方と取組体制についての提案

市内の学校設計の経験を生かし 地域に求められる学校づくりを実現

(ア) 成果物等(報告書及び図面)、積算関係書類等)の品質向上を図るための方法

徹底した品質・コスト管理と十分な検討により各分野の成果品の質を向上

□**各図面の整合性のチェックを十分に**行い、漏れのない**高品質な図面**を作成します。
□**フロントローディング設計**による情報共有にて**手戻りを回避**し、**業務を遂行**します。

(イ) スケジュールの組立て方や管理方法、工事監理体制などの業務の進め方

スケジュールを慎重かつ詳細に策定し、「手戻りのない」設計工程を実現

□**遅延、齟齬が生じない**よう、早期に問題を全て洗い出し、**着実に工程管理**します。
□各分野担当が**基本・実施・監理を継続担当し丁寧に設計意図を伝達・共有**します。

(ウ) 関係者間の連携等をどう行うかなどの取組体制

綿密な対話を重ねるワークショップやBIMによる効率的な連携型設計手法

□**定例設計会議**で、市担当部局・**学校・地域と丁寧かつ誠実な協議**を実施します。
□模型・**BIM・ICTによる効率的な設計**にて多様な意見を反映・検証する体制とします。